

# みどりのかせ

学校だより 令和5年5月31日号  
草津市立笠縫小学校  
Tel(077)562-0352  
Fax(077)566-1195

こうくん じいく 校訓：自育(すすんで学ぶ力)・和協(仲よくつながる心)・勤儉(よく励む態度)

## 今年度より笠縫小の通信票「わかば」は、年2回発行になります！

本校では、これまで通信票「わかば」を年3回発行しておりましたが、学習指導要領に則った教育活動の実施、また近年の学校教育に係る様々な現状を踏まえ、令和5年度より、年2回の発行といたします。変更の理由や変更点は以下の通りです。

### 変更の理由

- (1) 学習・生活の評価を前期・後期の2回にすることで7月、12月あたりの学習内容について、児童も教師もゆとりを持って取り組むことができます。また、この時期に取り組みにくかった学校行事、学年行事についても行うことができ、教育課程を編成する上でもゆとりを持たせることができます。
- (2) 従来の学期ごとによる年3回発行だと、3学期は非常に短い期間での評価となっていました。新学習指導要領では、長い期間をかけて子どもたちを観察し、意欲や態度等、さらにその変容等も含めて評価することになっています。年2回発行にすることで、比較的長期間にわたる細かい観察と指導を行いやすくなり、より確実に評価を行うことができます。
- (3) 年度半ば(10月)で個別懇談を行うことにより、年度当初の個別懇談等において保護者とともに確認した児童の学習面や生活面の様子について中期的に振り返り、学年後半の過ごし方、および進学・新学年に向けて、有益な話し合いの場とすることができます。

### 具体的な変更点について

- (1) 学習・生活の評価の期間を、これまでの年3回(1・2・3学期の各学期で評価)から、年2回(前期4～9月、後期10～3月で評価)に変更します。
- (2) 通信票「わかば」での学習・生活状況のお知らせを、これまでの年3回発行(各学期末に通信票を発行)から年2回発行(10月中旬頃と3月に通信票を発行)にします。
- (3) 10月中旬ごろに、前期成績について評価した通信票を渡す個別懇談会を設けます。  
※年度当初、2学期の個別懇談会を9月4日(月)～7日(木)としていましたが、  
**10月16日(月)～19日(木)に変更いたします。**
- (4) 今回の変更は、学習・生活の評価のみに関わるもので、従来の3学期制、および長期休暇(夏休み・冬休み・春休み)の日程については変更ありません。

児童の学習状況につきましては、単元終了後の評価テストや学習カード、作品などをできるだけ早く持ち帰らせるようにします。さらに、家庭学習でタブレット端末を持ち帰る際に、写真機能等を使って、お子さんの学校での学びを保護者の方に見ていただけるように努めます。また、お子様の学校生活の様子や学習の状況等に応じて、保護者の方に個別に連絡・相談させていただくこともあります。お子様のことでご相談がありましたら、いつでも担任や学校までお知らせください。



## 様々な行事から、たくさんの学びがありました！

### 5年生 びわ湖フローティングスクール

5年1組・2組は治田西小学校と、5年3組・4組は大宝東小学校、県立聾話学校の児童と一緒に乗船し、びわ湖フローティングスクールを行いました。両航海とも天候に恵まれ、予定していた活動をすべて行うことができました。コロナ禍だった昨年度までと違い、今年度から相手校との交流や宿泊を伴う活動が再開されました。子どもたちは「見つけよう！守りたいびわ湖！私たちがびわ湖にできること」をテーマに、びわ湖環境学習や展望活動など、様々な活動に取り組みました。5年生の子どもたちは他校の児童との交流により刺激を受け、普段とは一味違う頼もしい姿を見せてくれました。交流をしていく中で、同じ5年生で、雰囲気もよく似ているけれど、それぞれの環境や学びによって違う良さがあることに子どもたちは気づき、一緒に活動することで互いの良さを自然に受け入れていく子どもたちの姿に、改めてこうした交流の機会の大切さを感じることができた学習航海でした。



### 4年生 森林環境学習「やまのこ」

22日と23日の2回に分けて、4年生が近江富士花緑公園で、森林体験学習「やまのこ」を行いました。職員の方から森林の役割や、森林にすむ生き物についての話などを教わった後は、グループごとにサポーターさんに引率していただき、間伐見学・森林散策に出かけました。間伐見学では、木を伐採する様子を間近で見学しました。チェーンソーで切り込みを入れた後、代表の子どもたちがロープを引くと音を立てて木が倒れました。その瞬間の迫力には子どもたちからは歓声が上がりました。散策では、サポーターさんから、森の動植物の生態や水源のことなどを、実際に見たり触れたりしながらたくさん教えていただきました。午後の丸太切り体験では、太いヒノキの木に何度も途中で止まり悪戦苦闘していましたが、自分の力で最後まで切り落とした子どもたちの顔には満足げな表情が広がっていました。最後は集めてきた枝でキーホルダーを作りました。小刀の扱いに戸惑っていた子どもたちも、次第に慣れてきて、最後はそれぞれキーホルダーに仕上げることができました。子どもたちにとって、たくさんの発見や感動があった学習となりました。



### 2年生 サツマイモの苗植え・3年生 アオバナの苗植え・5年生 田植え

3年生、2年生、5年生がそれぞれ定植の体験活動を行いました。これらは、地域の方々から様々な準備をしてくださり、植え方を教えていただき、さらには、その後の水やりなどの管理もお世話になっています。こうした労力や時間を考えると、学校の教職員だけでは成立しない教育活動で、地域力の高さを改めて感じ、大変感謝しています。このように直に土に触れたり、田んぼに素足で入ったりする感触、そしてその時のにおいや風景は、子どもたちの五感に残るかけがえのない体験になっています。こうした学びを生かしていくためにも、収穫までの成長の様子やかけられる手間などについて継続的に観察や学びを進め、収穫の時期を迎えたいと思います。

